

RYOBI

**2010年3月期 第2四半期
決算資料(詳細)**

2009年11月

リョービ株式会社

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■ 目 次

- ① 上 期の連結業績概要
- ② 通 期の連結業績予想
- ③ 事業展開の方向性

3

2010年3月期 上期
連結業績概要

4

■業績の概要

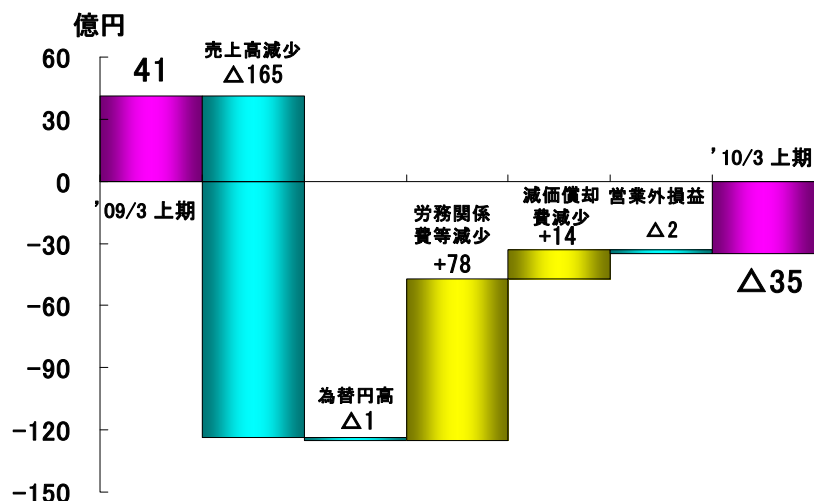
- ・減収、減益。
- ・需要減少に伴う売上高の減少。
- ・原価低減、経費削減、業務の効率化、設備投資抑制による償却費負担軽減などを実行したが、売上減少の影響が大きく利益は大幅に減少。

単位:億円

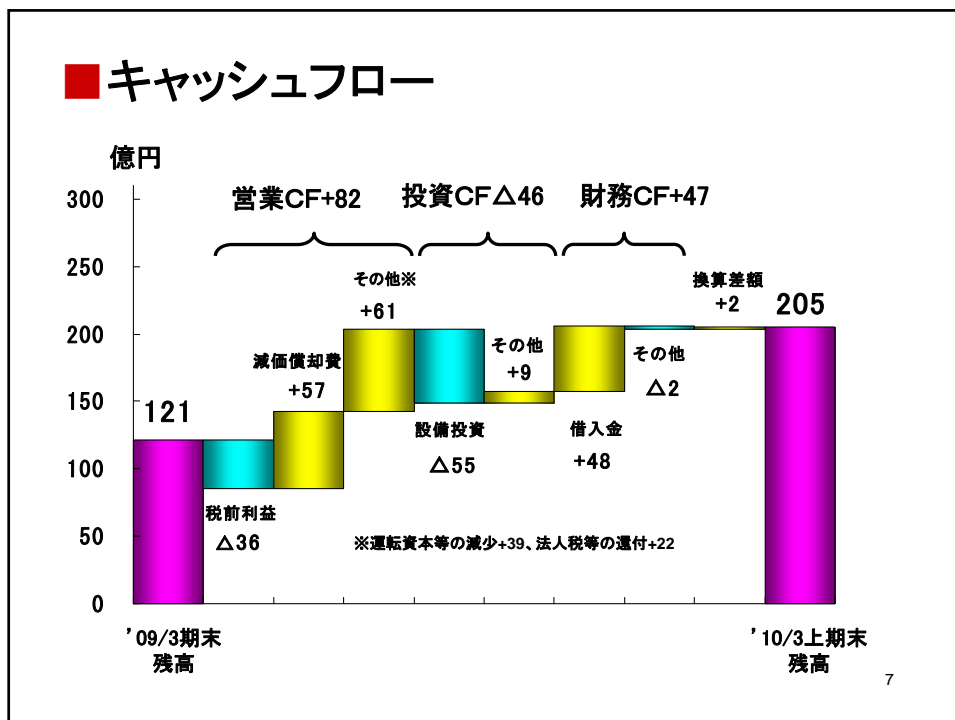
	'08/3 上期		'09/3 上期		'10/3 上期		前上期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	実績②	②-①	<増減率>	
売上高		1,061		1,039	561	△478	<△46.0>	
営業利益 (6.9)		74	(3.9)	41	△33	△74	<->	
経常利益 (6.9)		74	(4.0)	41	△35	△76	<->	
当期純利益 (4.0)		43	(2.2)	23	△29	△52	<->	
	'08/3期末		'09/3期末		'10/3 上期末		前期末比	
		実績		実績①	実績②	②-①	<増減率>	
総資産		1,960		1,672	1,714	42	<+2.5>	
利益剰余金		392		366	337	△29	<△7.8>	
有利子負債		452		586	642	57	<+9.7>	

5

■経常利益増減要因



6



■ 事業別の業績

単位: 億円

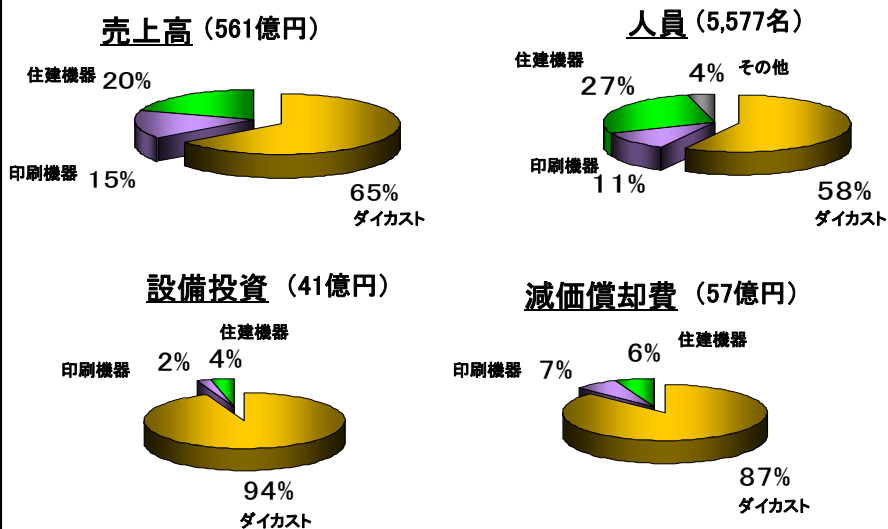
	'08/3 上期 (構成比%) 実績	'09/3 上期 (構成比%) 実績①	'10/3 上期 (構成比%) 実績②	前上期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(67.5) 716	(70.0) 727	(64.7) 363	Δ365 <Δ50.1>
印刷機器	(19.6) 208	(17.3) 180	(15.2) 86	Δ94 <Δ52.4>
住建機器	(12.9) 137	(12.7) 132	(20.1) 113	Δ20 <Δ15.0>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(4.8) 35	(3.4) 25	(-) Δ33	Δ58 <- - >
印刷機器	(13.4) 28	(5.8) 10	(-) Δ8	Δ18 <- - >
住建機器	(8.1) 11	(4.3) 6	(6.9) 8	2 <+37.5>

■ 事業別営業利益の増減の要因

- ①ダイカスト (△58億円)
 主要な得意先である日米自動車メーカー各社の減産により受注が減少し、大幅な減益
- ②印刷機器 (△18億円)
 印刷業界の不振、顧客の設備投資の抑制、円高の進行などにより、特に輸出が減少し、大幅な減益
- ③住建機器 (+2億円)
 国内住宅着工戸数の減少や個人消費の低迷、厳しい販売競争などにより売上は減少したが、原価低減・経費削減の効果などで増益

9

■ 事業別構成比('10/3 上期)



10

2010年3月期 通期 連結業績予想

11

■ 経営環境

- ・景気は持ち直しの動きは見られるが、依然リョービを取り巻く環境は厳しい状況。
- ・世界の自動車産業は、一部の国を除き生産は低調。需要回復には時間を要する。
- ・雇用情勢の悪化、円高の進行、住宅着工戸数の減少など懸念材料が多く、先行きは不透明。

12

■業績予想

・減収、減益

単位：億円

	'08/3期 (利益率%) 実績	'09/3期 (利益率%) 実績①	'10/3期 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高	2,162	1,763	1,230	△533 <△30.2>
営業利益	(6.6) 142	(1.0) 18	△32	△50 <- ->
経常利益	(6.4) 139	(0.9) 16	△37	△53 <- ->
当期純利益	(3.8) 82	(0.1) 2	△32	△34 <- ->

13

■事業別の業績

単位：億円

	'08/3期 (構成比%) 実績	'09/3期 (構成比%) 実績①	'10/3期 (構成比%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(68.7) 1,486	(69.6) 1,228	(66.8) 822	△406 <△33.0>
印刷機器	(18.9) 410	(16.7) 294	(15.3) 188	△106 <△36.1>
住建機器	(12.3) 266	(13.7) 241	(17.9) 220	△21 <△8.8>
営業利益	(利益率%)	(利益率%)		
ダイカスト	(5.1) 76	(0.4) 5		減少
印刷機器	(12.1) 49	(1.9) 6		減少
住建機器	(6.2) 16	(3.3) 8		増加

14

■ 営業利益の主な増減要因('09/3期比)

単位：億円

要 因	影響額
減 少 計	△161
売上高減少の影響	△156
為替変動(円高)	△ 5
増 加 計	+111
労務関係費等の削減	+ 83
減価償却費減少	+ 28

15

■ 為替レート

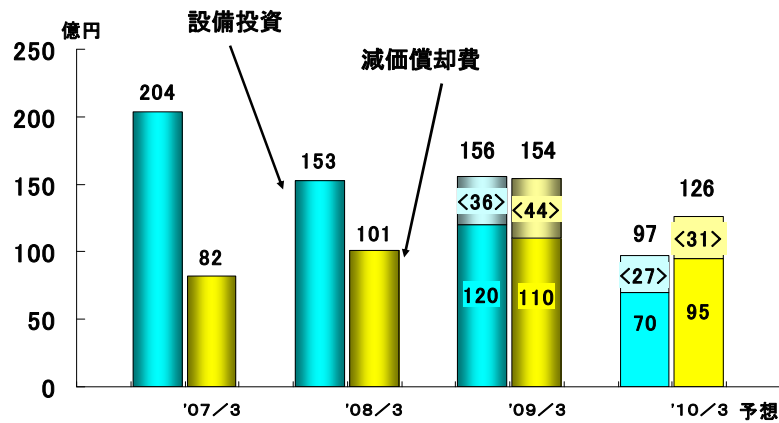
※海外子会社財務諸表換算レート

	'09/3期	輸出入レート	'10/3期下期 想定レート
		※換算レート	
US \$	100円		90円
	104円		(25百万円)
EUR	143円		115円
	-----		(10百万円)
stg £	173円		130円
	197円		(5百万円)

()内は1円変動した場合の年間の営業利益影響額。

16

■ 設備投資と減価償却費



'09/3期から一部の金型の会計処理を棚卸資産から固定資産に変更。これにより設備投資、減価償却費に計上される金型分を<>で示す。

事業展開の方向性

■ダイカスト事業

- ＜開 発＞ パワートレイン部品以外の自動車部品のダイカスト化を促進
- ＜生 産＞ 生産量が減少しても利益を出せる生産体制の構築
中国の生産体制の拡充
- ＜販 売＞ グローバルな販売体制による世界の自動車メーカーからの受注拡大

19

■印刷機器事業

- ＜開 発＞ マーケットニーズに合った商品の拡充
 - ・大型機、バリエーション、多様な印刷
 - ・環境に配慮した商品開発
- ＜生 産＞ 生産量が減少しても利益を出せる生産体制の構築
- ＜販 売＞ グローバルな販売・サービス体制の強化によるシェアの拡大

20

■ 住建機器事業

<開 発> 軽量・コンパクトをコンセプトに機能性と安全性を追求した商品開発

<生 産> 製造力の強化による価格競争力の向上

<販 売> 高品質商品の販売
マーケティング力の強化

21

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

22